

やまおり

たにおり

やまおり

たにおり

【教行信証】

(展示期間 10/25～12/4)

【選択本願念仏集】

(展示期間 10/25～12/4)

法然が66歳のとき九条兼実に頼まれて書いた、阿弥陀仏と念仏についての本。はじめは限られた人しか読めなかった。浄土宗の一番だいじな聖典。

正式名称「顕浄土真実教行証文類」。

親鸞が常陸国(いまの茨城県)にいた

52歳の頃から亡くなるまで書き続けた、

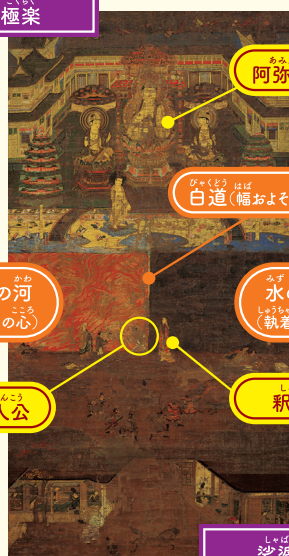
阿弥陀仏の救いについての本。浄土真宗の一番だいじな聖典。



【二河白道】

娑婆(今の世の中)にある
たくさん人の悩みや誘惑を
ふりきって、ただひたすらに
阿弥陀仏を信じて
極楽浄土へ進むことを勧めるお話。

ごくらく 極楽



あみだぶつ 阿弥陀仏

びやくどう はく 白道 (幅およそ15cm)

ひ 火の河 (怒りの心)

みず 水の河 (執着の心)

しゅじんこう 主人公

しゃか 釈迦

しゃば 娑婆

重要文化財
二河白道図 京都・光明寺蔵
[展示期間 10/25～11/13]

な

む

こ

と

ば

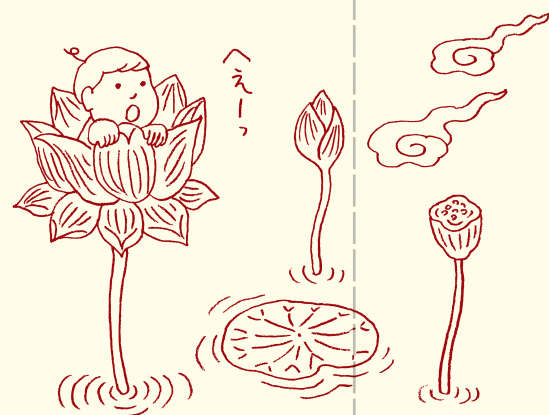
ニックネームは「早来迎」。
阿弥陀仏と25人の菩薩が亡くなる人をお迎えにくるところを描く。



国宝 阿弥陀二十五菩薩来迎図 京都・知恩院蔵
[展示期間 10/25～11/13]

【念仏 来迎】

念仏とは阿弥陀仏の名前を
「南無阿弥陀仏」と称えること。
亡くなる人を仏さまが迎えに来ることを来迎といふ。
お迎えには9つの形があると
観無量寿経に説かれている。



やまおり

たにおり

やまおり

たにおり